

## 7 8 2 取扱説明書

この取扱説明書に記載されている機種番号は、時計の裏フタに刻印されている6桁の番号のうち、上3桁と同一のものです。

## 商品の特徴

この時計は文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計の針やアラーム音の電力源となる光発電機能をベースにアラーム、クロノグラフ機能を搭載した多針アナログソーラー

## ご使用になる前に

この時計には電気エネルギーを蓄えるために二次電池が使われています。この二次電池は水銀などの有害物質が一切使われていないクリーンエネルギー電池です。一度フル充電すると約8日間（アラーム音1秒/日、クロノグラフ計測60分/日使用した場合）は充電しなくても時計は動き続けます。

この時計の上手な使い方  
この時計に付加されているアラーム機能やクロノグラフ機能なども含め快適にこの時計を使うためには、常に余裕をもって充電することを心がけてください。この時計はどんなに充電しても過充電の心配はありません。（過充電防止機能付き）毎日充電を心掛けてご使用されることをおすすめします。

## 充電時間の見方

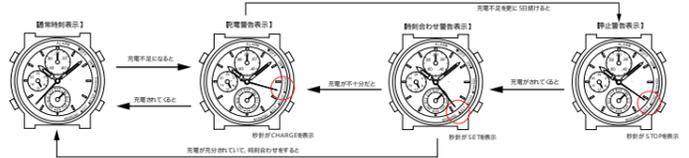
時計のモデル（文字板色など）によって充電時間が異なります。あくまで目安としてご利用ください。  
\*充電時間は連続照射時間です。

照度 (ルクス)	環境	充電時間		
		止まり状態から秒 運針までの時間	1日分の充電時間	フル充電時間
500	一般オフィス	約2.8時間	約2時間30分	約2.20時間
1000	蛍光灯の下60~70cm	約1.3時間	約1時間	約1.05時間
3000	蛍光灯の下20cm	約4時間30分	約2.5分	約3.4時間
10000	曇天	約1時間30分	約8分	約1.0時間
100000	夏の直射日光下	約50分	約2分	約3時間

フル充電時間……時計が停止している状態から最大に充電されるまでの時間。  
1日分の充電時間……起動するのに必要な時間。

## ソーラーウォッチ特有の機能について

この時計は充電不足になると以下のような警告機能が働いて表示が切り替わります。



### 充電警告機能

時計がどの表示をしても充電不足になると時刻表示に切り替わり、秒針がCHARGE位置へ移動して充電不足であることを知らせます。（充電警告表示）  
この時も時刻（時、分、2時間針）は正確に動いています。  
アラームがセットされていてもアラームは鳴りません。  
クロノグラフ計測中では計測を中止してリセットされます。  
プッシュボタンは機能しません。  
（"このような場合には"を参照ください。）

### 停止警告機能

充電不足状態をさらに放置しておく約5日後には秒針がSTOP位置へ移動して時計が充電不足により停止していることを知らせます。（停止警告表示）  
この状態ではすべての機能が停止します。  
（"このような場合には"を参照ください。）

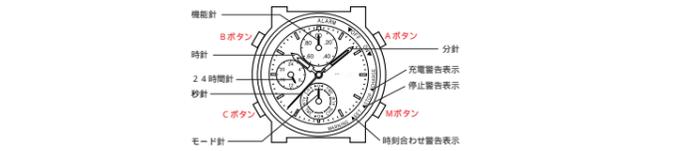
### 時刻合わせ警告機能

寝停止した時計に再び光を当てて充電していくと秒針がSE位置に移動し時刻が正しくないことを知らせます。（時刻合わせ警告表示）  
時、分、24時間針は正しくないまま動きだします。  
（"このような場合には"を参照ください。）  
過充電防止機能  
二次電池がフル充電されると、それ以上は充電されないように過充電防止機能が働きますので安心して充電ができます。

注意  
取扱説明書通りに操作できない時は、充電量が不足しています。蛍光灯又は白熱灯下20cmの位置で、約6時間以上充電してからご利用ください。その時、光源に時計を近づけ過ぎないでください。直射日光下では約1時間以上充電してください。

## 特徴と各部名称

この時計は文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計の針やアラーム音の動力源となる光発電機能をベースにアラーム、クロノグラフ機能を搭載した多針アナログソーラーウォッチです。

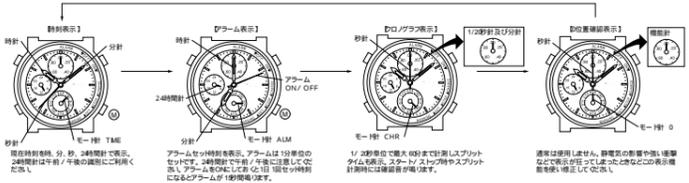


名称	時刻表示	アラーム表示	クロノグラフ表示	位置確認表示
秒針	TMEを表示	ALMを表示	CHRを表示	0を表示
分針	秒表示	アラームON/OFF表示	クロノ秒表示	位置表示
24時間針	分表示	アラーム分針	時刻の分表示	
モード針	時表示	アラーム時針と連動して24時間表示	時刻の時表示	
24時間針	時針と連動して24時間表示	時針と連動して24時間表示	時針と連動して24時間表示	
機能針	常に0(12時)位置		クロノ1/20秒又は分を表示	位置表示
Mボタン	モード切り替えと時刻修正に使用	モード切り替え	モード切り替え	モード切り替え
Aボタン	不使用	アラームON/OFF切り替え	クロノスタート/ストップ	秒針の位置修正
Bボタン	時計方向に時刻を修正	クロノ1/20秒単位計測読み取り	機能針の位置修正	
Cボタン	反時計方向に時刻を修正	クロノスプリット/リセット	不使用	

充電警告表示：秒針がこのCHARGE位置へ移動すると時計が充電不足であることを知らせる充電警告機能が働いていることを示します。  
停止警告表示：秒針がこのSTOP位置へ移動すると時計が充電不足により停止していることを知らせる停止警告機能が働いていることを示します。  
時刻合わせ警告表示：秒針がこのSE位置に移動すると時刻が正しくないことを知らせる時刻合わせ警告機能が働いていることを示します。

## 表示切替

この時計の主な表示機能として時刻のほかにアラーム、クロノグラフなどがあります。Mボタンを押す毎に表示が時刻 TME アラーム ALM クロノグラフ CHR (0) と切り替わります。モード針で切り替わりを確認して下さい。その後は再び時刻 TME 表示に戻り繰り返します。  
Mボタンを押す時は指先で強く押しして下さい。



## 時刻の合わせ方

Mボタンの引き出し操作を容易にするため、時刻合わせをする時は腕から外して行って下さい。  
モード針が TME を指して時刻モードであることを確認します。  
1. Mボタンを1段階引きします。秒針が0位置で停止します。  
万一秒針が0位置に停止しないときは後述の"各針の位置確認と修正"を参照して0位置修正をしてください。  
この時計の時刻修正はボタン操作による電磁修正です。

分針 時計-24時間針と連動して時刻修正します。 時計を合わせるときは24時間針の位置（午前/午後）に注意してください。  
2. 時刻修正はBまたはCボタンを押して修正します。  
Bボタンを一回押す毎に……時計方向に 1分づつの修正ができます。  
Cボタンを一回押す毎に……反時計方向に 1分づつの修正ができます。  
B、Cボタンともに押し続けると早進針します。  
TME モードで充電切れによる時計停止の場合、再充電後モード針を「TME」以外の表示に切り替えした後、再び「TME」モードにして時刻合わせを行って下さい。  
3. 時報などに合わせてMボタンを通常位置に戻すと正しい時刻で時計はスタートします。

【分針が正しい位置にないときは】  
1. Mボタンを 1段階引きします。  
2. 時刻修正はBまたはCボタンを押す毎に20秒づつの修正ができます。  
注意：A、B、Cボタンを同時に押さないでください。押した場合は、"位置合わせ"及び各機能を合わせ直す必要があります。

## このような場合には

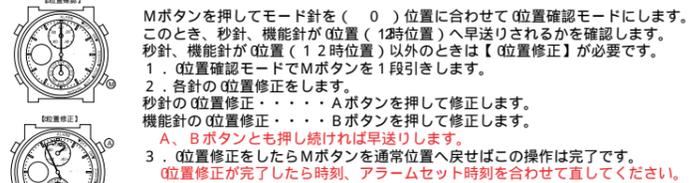
充電警告表示になったら  
時計がどの表示をしても充電不足になると時刻表示に切り替わり、秒針がCHARGE位置へ移動して充電不足であることを知らせます。  
このような場合には、光を充分当ててこの警告状態を解除してください。（秒針が1秒進針に復帰します）  
光の種類（光源）により異なりますが、光を当てはじめてからこの警告状態が解除されるまで約3分程度かかります。

停止警告表示になったら  
充電不足状態をさらに放置しておく約5日後には秒針がSTOP位置へ移動して時計が充電不足により停止していることを知らせます。  
この状態ではすべての機能が停止します。このような場合には光を充分当ててこの警告状態を解除してください。また充分な充電を行った後にアラームセット時刻の再セットが必要です。

時刻合わせ警告表示になったら  
1度停止した時計に再び光を当てて充電していくと秒針がSE位置に移動し時刻が正しくないことを知らせます。  
このような場合には時、分、24時間針を正しい時刻に合わせ直してください。この時刻修正と充分な充電をしないとアラーム、クロノグラフなど他の機能が作動しません。  
時刻合わせ警告表示状態のときに充分な充電がされていない場合は光をさえぎると秒針がSTOP位置に切り替わり、時計は停止してしましますでご注意ください。

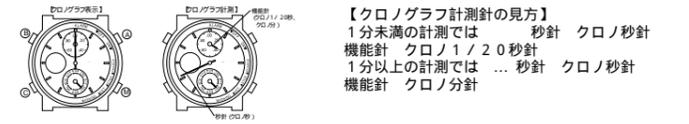
## 各針の0位置確認と修正

静電気の影響や強い衝撃等により時計の表示が狂うことがあります。このような場合には次の各針の0位置確認の上修正をします。



## クロノグラフの使い方

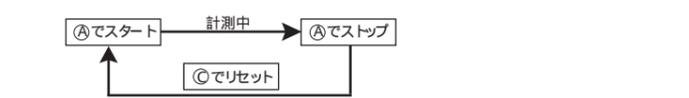
クロノグラフ計測は1/20(0.05)秒単位で最大60分まで計測できます。その後はクロノリセット状態になります。



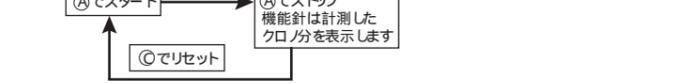
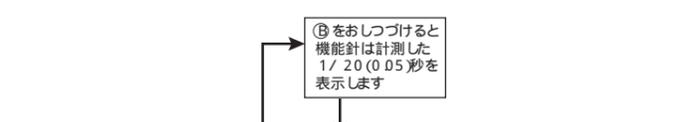
【クロノグラフ計測】  
クロノグラフ単純又は積算計測  
1. Mボタンを押してモード針を（CHR）に合わせクロノグラフ表示にします。この時、秒針と機能針が0位置へ早送りされます。  
時、分、24時間針は現在時刻を示します。  
2. Aボタンを押す毎に確認音とともにクロノスタート/ストップをくり返します。

【クロノストップ時の計測時間が1分以上のときのクロノ各針の読み取り方】  
1. 機能針で何分かを読み取る。秒針で何秒かを読み取る。  
Bボタンを押している間機能針が1/20(0.05)秒針に切り替わりますのでそのときの値を読み取ります。  
Bボタンを離すと再び機能針はクロノ分を示します。  
2. クロノストップ状態でCボタンを押すと機能針、秒針は0位置にリセットされます。

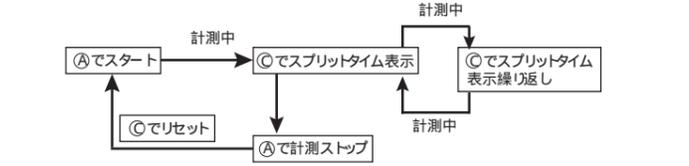
## クロノ1分未満計測



## クロノ1分以上計測



【クロノスプリット計測】  
クロノ計測中にCボタンを押すと確認音とともにクロノスプリット表示されます。再びCボタンを押すと確認音とともに次のスプリットが表示されます。なおスプリット表示は約10秒後には自動的に解除され計測状態に切り替わります。クロノスプリット表示又は計測中にAボタンを押すとクロノストップ表示になります。クロノストップ表示のときにCボタンを押すとクロノリセットされます。  
スプリットタイムは計測中又はスプリット表示中にCボタンを押す毎に次のスプリットタイムを表示します。



## アラームの使い方

アラームは1回アラームセット時刻になるとアラーム音が1秒間鳴ります。鳴っているアラームを止めたいときはA、B、Cのいずれかのボタンを押せば鳴り止みます。

## 【アラーム時刻のセット】

Mボタンの引き出し操作を容易にするため、アラーム時刻を修正するときは腕から外して行って下さい。  
アラームのセットは2.4時間制です。1分単位のセットができます。  
針は分、時、24時間針と連動しています。  
1. Mボタンを押してモード針を（ALM）に合わせてアラーム表示にします。  
2. Mボタンを1段階引きしてアラームセット時刻修正状態にします。  
3. B又はCボタンを押して時、分、24時間針をセットしたい時刻に合わせます。  
・Bボタンを一回押す毎に 時計方向に 1分単位のセットができます。  
・Cボタンを一回押す毎に …反時計方向に 1分単位のセットができます。  
B、Cボタンともに押し続けると早進針します。  
アラーム時刻合わせが出来たらMボタンを押して「TME」モードにします。時・分・24時間針が自動的に早回転して現在位置に戻ります。  
万一、時、分、2.4時間針が回転し続けて止まらない場合は、再びMボタンを押して下さい。

## 【アラームのOV/OFF切り替え】

アラームセット時刻修正状態においてAボタンを押す毎にアラームのOV/OFF切り替えができます。

## 【アラーム音モニター】

アラーム表示において（Mボタンは通常位置）Aボタンを一回押すとアラーム音が5秒間なります。

## 注意

- 二次電池にどの位充電されているかによって多少アラーム音の大きさに違いが生じる場合があります。
- 時刻表示以外の表示（アラーム、クロノグラフ、位置確認、および各表示の修正状態）ではアラーム音が多少小さくなります。アラーム時刻のセットができたら、通常は時刻（TME）表示でお使いください。

## ソーラーウォッチ取扱上の注意

<時計は常に充電を心掛けてお使いください>  
日常長袖などを着用しているとき時計が隠れて光に当たらないため充電不足になりやすいのでご注意ください。  
・時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

警告  
この時計に使われている二次電池（チタンリチウムイオン電池）以外の電池は絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、むりに銀電池などの種類の電池を使い万一充電されると過充電となり電池が破裂して部品の破損および人体を傷つける危険があります。  
二次電池交換の際は必ず指定の二次電池（チタンリチウムイオン電池 / 部品番号295-29）をご使用ください。

## ソーラーウォッチ充電上の注意

注意  
・充電するときは時計が高温になると、故障の原因となりますので高温下（約60以上）での充電は避けてください。  
例）白熱灯、ハロゲンランプなど高志になりやすい光源に時計を近づけての充電。  
ダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電。  
・光の弱い場所でのフル充電は難しいのでご注意ください。